

授業科目名 (英文表記)	紀州郷土学D (郷土教育、伝承) (Kisyu hometown study D)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	此松 昌彦、海津 一郎、長谷 正紀、大浦 由美、中島 敦司、加藤 久美		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	12月6日(土) 13:00~17:00	担当:海津 一郎	
	12月13日(土) 13:00~17:00	担当:長谷 正紀	
	12月20日(土) 13:00~17:00	担当:此松 昌彦	
	1月10日(土) 13:00~17:00	担当:大浦 由美	
	1月24日(土) 13:00~17:00	担当:中島 敦司	
	1月31日(土) 13:00~17:00	担当:加藤 久美	

【講義概要】

紀伊半島(和歌山県と三重県南部の紀州地域を主とする)を郷土教育、伝承の観点から「郷土:紀伊半島」を考えます。「地域の独自性」を総合的に学べるカリキュラムです。本科目では、地質、地形の上に生物や人間の営みがあって、それらを教育や伝承としてどう継承して現在の紀伊半島の多様性があるのかを学びます。

学生をはじめ、地域づくりの活動をされている方、観光関係、地域ガイドの方にも受講していただきたい。

【授業計画】

第1回 「印南町の雑賀踊りを考える」海津 一郎 (教育学部)

雑賀衆の勝利の舞といわれている雑賀踊りが、なぜ印南町に伝わるのだろうか考えてみよう。

第2回 「和歌山のふるさと教育」長谷 正紀 (非常勤講師)

小・中学生向けに作成された「わかやま再発見」(県教育委員会発行)はふるさと和歌山がわかりやすく説明されている。各市町村発行の社会科副読本とともにそれらの活用について考えたい。

第3回 「紀伊半島の災害史」此松 昌彦 (教育学部) ゲスト講師:前田 正明 (県立博物館)

紀伊半島沿岸部では、南海トラフの地震によって繰り返し津波の災害が発生しています。また台風などによる水害や土砂災害も多く発生しています。これからの災害史から、自分たちの備えについて考えます。

第4回 「紀伊半島の森づくり」大浦 由美 (観光学部)

大きな転換期を迎えている和歌山の森づくりについて多面的に考える。

第5回 「エコロジーと自然環境」中島 敦司 (システム工学部) ゲスト講師:大竹 哲夫

先人から学ぶことは多い。妖怪、伝承に隠された環境保全の智慧を探る。

第6回 「環境倫理と民俗知」加藤 久美 (観光学部)

自然との共生から培われた伝統知識(民俗知、伝承知)、そこに見られる精神性を「環境文化」として見ていきます。

【到達目標】

紀伊半島の郷土教育、伝承について考え自らのことばで語るができる。

またそれらについて自らの興味に基づいて、自ら文献等を調べることができる。

【教科書・教材】

基本的には講義ごとに資料を配付します。

【参考書】

特に指定はありません。

【授業時間外学習】

紀伊半島の歴史、生活、自然などのニュースについて関心を持ちながら集めておいてください。

地域でどんなことが話題になっているのかを整理しておいてください。

【履修上の注意・メッセージ】

講義は1回完結です。郷土の保全、管理、活動が、地域の暮らしにどうつながるのか考えてください。

特に紀州郷土学A、Bの受講生は地形、地質、生物、文化、歴史との関連性について考えてみてください。